

令和4年度4月入学

大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）入学試験問題

【一般選抜】

言語文化学専攻
日本アジア言語文化学コース

〔専門科目〕

試験日：令和3年9月1日（水）

注 意

1. この冊子には、次のとおり、2分野、合計5題の問題が綴じられている。
(総ページ数 — 8ページ)

A群 (A I～AIV)

B

試験開始に際しては、まず、上記のとおり全問題があることを確認し、脱落がある場合は、挙手により監督官に申し出ること。

2. 各受験者は、A群のうちからいずれか1題を選び、Bの問題と合わせて解答すること。
3. 解答に際しては、A・Bそれぞれ指定された解答用紙を用いること。
(裏面も使用してよい。)

なお、使用する解答用紙のすべてに受験番号及び氏名を記入すること。

4. 試験終了後、この冊子は持ち帰ること。

A-1 つぎに掲げるのは、『萬葉集』卷三挽歌の冒頭部分と、『日本書紀』推古天皇二十一年十二月の条である。これらを読んで、後の問に答えよ。

『萬葉集』

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

(3・四一五 題詞下の注は省略した)

『日本書紀』

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

(推古天皇二十一年十二月朔 訓読は新編日本古典文学全集による)

問一 萬葉歌の漢字本文部分「妹之手將纏」の訓みを平仮名で示せ。

問二 萬葉歌の第四句「臥せる」について、

- (a) 敬語を抜き出し、その終止形を記せ。
- (b) 誰から誰へのどのような敬意を表しているのか説明せよ。

問三 萬葉歌の結句の「あはれ」について、

- (a) 本文は「**何**怜」とあるが、これがなぜアハレと訓み得るのか説明せよ。
- (b) 誰の誰に対するどのような心情を表すのか詳しく説明せよ。

問四 日本書紀歌謡の傍線部「親無しに 汝生りけめや さす竹の 君はや無き」を解釈せよ。

問五 右の萬葉歌と日本書紀歌謡との関係について詳しく説明せよ。

問六 聖徳太子について知るところを述べよ。

A II つぎの文章は、『源氏物語』「幻」巻の一節である。これを読んで、後の問に答えよ。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

- 問一 本文中の影印部分を翻字せよ。改行および漢字仮名の別はもとのままとし、濁点をつけること。
- 問二 傍線部1「御本意遂げたまふべき気色」とはどういうことか、具体的に説明せよ。
- 問三 傍線部2「落ちとまりてかたはなるべき人の御文ども」を現代語訳せよ。
- 問四 傍線部3「かの御手なるは、ことに結びあはせてぞありける」について、「かの御手」が指すところを明らかにして解釈せよ。
- 問五 傍線部4「げに千年の形見にしつべかりける」について、「かひなしと思ひな消ちそ水茎の跡ぞ千年の形見ともなる」(古今和歌六帖・第五)を引いた文であることをふまえて、解釈せよ。
- 問六 傍線部5「この世ながら遠からぬ御別れのほど」とはどういうことか、この物語の内容をふまえて具体的に説明せよ。
- 問七 傍線部6の和歌を解釈せよ。
- 問八 傍線部7「行く末ながきことを請ひ願ふも、仏の聞きたまはんことかたはらいたし」について、「かたはらいたし」の意味を明らかにして解釈せよ。
- 問九 『源氏物語』がその後の文学においてどのように受容されたかについて、知るところを述べよ。

A III つぎの文章について後の問に答えよ。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問一 傍線部1について、このような浪子の仕草からどのようなことが読み取れるか、説明せよ。

問二 傍線部2について、

(a) 「虚言を吐き玉ふな」とあるが、「虚言」とはどのようなことをさしているか、説明せよ。

(b) 傍線部2について、語りの点から説明せよ。

問三 傍線部3について、どういうことか、説明せよ。

問四 傍線部4について、何が「可笑しい」のか、説明せよ。

問五 傍線部5について、どういうことか、「之」と「初心」の内容を明らかにしつつ、説明せよ。

問六 傍線部6について、どういうことか、「丸髻」「島田」の表象に注意して説明せよ。

問七 作者と作品名、初刊の出版年を答えよ。

A IV つぎの①、②の問に、すべて答えよ。

① つぎの【甲】の詩は、明の程嘉燧の七言律詩である。この詩に対する現代中国の研究者による注釈【乙】を読んで、後の問に答えよ。
【甲】『松園浪淘集』卷十二

問題文は、著作権の関係で掲載していません。

【乙】杜貴晨『明詩選』（人民文学出版社 二〇〇三年）

問題文は、著作権の関係で掲載していません。

問一 【甲】の詩について、

- (a) 領聯と頸聯を句ごとに改行して抜き出し、その右横に平仄を示せ。ただし、平は○、仄は●、韻字は◎を用いること。
- (b) 尾聯の書き下しを示せ。
- (c) 尾聯を現代日本語に訳せ。

問二 この詩はどのような境地を詠じたものと考えられるか、【甲】の詩題と【乙】の注釈を参考にして解説せよ。

② つぎの文章を読み、後の問に答えよ。

問題文は、著作権の関係で掲載していません。

(《汉语语法分析问题》より)

*21 节：第 21 節は語構成について論じた節。

- 問一 下線部 a を日本語に訳せ。
- 問二 下線部 b について、なぜそのように言えるのか、理由を説明せよ。
- 問三 この文章は何について説明したものか、文中の語句を用いて簡潔に答えよ。

B つぎの事項のうち、いずれか任意の五つを選んで説明せよ。なお、それぞれの解答のはじめに、何番の事項についての解答であるかをかならず明記すること。

- ① 山上憶良
- ② 梨壺の五人
- ③ 『新撰菟玖波集』
- ④ 往来物
- ⑤ 悲惨小説
- ⑥ 『三田文学』
- ⑦ 第二芸術
- ⑧ 『宴のあと』
- ⑨ ミ語法
- ⑩ フォト点
- ⑪ 変体漢文
- ⑫ 主語
- ⑬ 公安派
- ⑭ 三蘇
- ⑮ 『左伝』
- ⑯ 劉向『列女伝』
- ⑰ 辺塞詩
- ⑱ 莫言

令和4年度4月入学

大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）入学試験問題

【外国人留学生特別選抜】

言語文化学専攻
日本アジア言語文化学コース

〔専門科目〕

試験日：令和3年9月1日（水）

注 意

1. この冊子には、次のとおり、3分野、合計6題の問題が綴じられている。
(総ページ数 — 8ページ)

A群 (A I～AIV)

B

C

試験開始に際しては、まず、上記のとおり全問題があることを確認し、脱落がある場合は、挙手により監督官に申し出ること。

2. 各受験者は、A群のうちからいずれか1題を選び、BおよびCの問題と合わせて解答すること。
 3. 解答に際しては、A・B・Cそれぞれ指定された解答用紙を用いること。
(裏面も使用してよい。)
- なお、使用する解答用紙のすべてに受験番号及び氏名を記入すること。
4. 試験終了後、この冊子は持ち帰ること。

A-1 つぎに掲げるのは、『萬葉集』卷三挽歌の冒頭部分と、『日本書紀』推古天皇二十一年十二月の条である。これらを読んで、後の問に答えよ。

『萬葉集』

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

(3・四一五 題詞下の注は省略した)

『日本書紀』

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

(推古天皇二十一年十二月朔 訓読は新編日本古典文学全集による)

問一 萬葉歌の漢字本文部分「妹之手將纏」の訓みを平仮名で示せ。

問二 萬葉歌の第四句「臥せる」について、

- (a) 敬語を抜き出し、その終止形を記せ。
- (b) 誰から誰へのどのような敬意を表しているのか説明せよ。

問三 萬葉歌の結句の「あはれ」について、

- (a) 本文は「何^ん怜^れ」とあるが、これがなぜアハレと訓み得るのか説明せよ。
- (b) 誰の誰に対するどのような心情を表すのか詳しく説明せよ。

問四 日本書紀歌謡の傍線部「親無しに 汝生りけめや さす竹の 君はや無き」を解釈せよ。

問五 右の萬葉歌と日本書紀歌謡との関係について詳しく説明せよ。

問六 聖徳太子について知るところを述べよ。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

- 問一 本文中の影印部分を翻字せよ。改行および漢字仮名の別はもとのままとし、濁点をつけること。
- 問二 傍線部1「御本意遂げたまふべき気色」とはどういうことか、具体的に説明せよ。
- 問三 傍線部2「落ちとまりてかたはなるべき人の御文ども」を現代語訳せよ。
- 問四 傍線部3「かの御手なるは、ことに結びあはせてぞありける」について、「かの御手」が指すところを明らかにして解釈せよ。
- 問五 傍線部4「げに千年の形見にしつべかりける」について、「かひなしと思ひな消ちそ水茎の跡ぞ千年の形見ともなる」(古今和歌六帖・第五)を引いた文であることをふまえて、解釈せよ。
- 問六 傍線部5「この世ながら遠からぬ御別れのほど」とはどういうことか、この物語の内容をふまえて具体的に説明せよ。
- 問七 傍線部6の和歌を解釈せよ。
- 問八 傍線部7「行く末ながきことを請ひ願ふも、仏の聞きたまはんことかたはらいたし」について、「かたはらいたし」の意味を明らかにして解釈せよ。
- 問九 『源氏物語』がその後の文学においてどのように受容されたかについて、知るところを述べよ。

A III つぎの文章について後の問に答えよ。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問一 傍線部1について、このような浪子の仕草からどのようなことが読み取れるか、説明せよ。

問二 傍線部2について、

(a) 「虚言を吐き玉ふな」とあるが、「虚言」とはどのようなことをさしているか、説明せよ。

(b) 傍線部2について、語りの点から説明せよ。

問三 傍線部3について、どういうことか、説明せよ。

問四 傍線部4について、何が「可笑しい」のか、説明せよ。

問五 傍線部5について、どういうことか、「之」と「初心」の内容を明らかにしつつ、説明せよ。

問六 傍線部6について、どういうことか、「丸髻」「島田」の表象に注意して説明せよ。

問七 作者と作品名、初刊の出版年を答えよ。

A IV つぎの①、②の問に、すべて答えよ。

① つぎの【甲】の詩は、明の程嘉燧の七言律詩である。この詩に対する現代中国の研究者による注釈【乙】を読んで、後の問に答えよ。
【甲】『松園浪淘集』卷十二

問題文は、著作権の関係で掲載していません。

【乙】杜贵晨『明诗选』（人民文学出版社二〇〇三年）

問題文は、著作権の関係で掲載していません。

問一 【甲】の詩について、

- (a) 領聯と頸聯を句ごとに改行して抜き出し、その右横に平仄を示せ。ただし、平は○、仄は●、韻字は◎を用いること。
- (b) 尾聯の書き下しを示せ。
- (c) 尾聯を現代日本語に訳せ。

問二 この詩はどのような境地を詠じたものと考えられるか、【甲】の詩題と【乙】の注釈を参考にして解説せよ。

② つぎの文章を読み、後の問に答えよ。

問題文は、著作権の関係で掲載していません。

（《汉语语法分析问题》より）

*21 节：第 21 節は語構成について論じた節。

問一 下線部 a を日本語に訳せ。

問二 下線部 b について、なぜそのように言えるのか、理由を説明せよ。

問三 この文章は何について説明したものか、文中の語句を用いて簡潔に答えよ。

B つぎの事項のうち、いずれか任意の三つを選んで説明せよ。なお、それぞれの解答のはじめに、何番の事項についての解答であるかをかならず明記すること。

- ① 山上憶良
- ② 梨壺の五人
- ③ 『新撰菟玖波集』
- ④ 往来物
- ⑤ 悲惨小説
- ⑥ 『三田文学』
- ⑦ 第二芸術
- ⑧ 『宴のあと』
- ⑨ ミ語法
- ⑩ フコト点
- ⑪ 変体漢文
- ⑫ 主語
- ⑬ 公安派
- ⑭ 三蘇
- ⑮ 『左伝』
- ⑯ 劉向『列女伝』
- ⑰ 辺塞詩
- ⑱ 莫言

C あなたの研究しようとしているテーマは何か、またそれに対してどのようなアプローチを試みるつもりかを、具体的に論述せよ。